

議会のひろば

特集

令和4年度
政策提言書を提出

P.8

P.9

議会のひろば 第30号

発行日:2023年(令和5年)1月25日発行 発行:岡谷市議会 編集:議会広報広聴委員会
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎ 0266-23-4811 議会事務局 内線:1711) URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>



再生紙と植物油墨を使用しています
印刷:ツルモ印刷株式会社

令和5年
新年の抱負「漢字一文字」

岡谷の市民力
発見!!

「岡谷シルクブランド」をつまぶ

P.16

岡谷の市民力 発見!! 「岡谷シルクブランド」をつまぶ

岡谷絹工房さんに行ってきました!

※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら取材しています。

岡谷絹工房は岡谷市内(宮坂製糸所)で生産される質感に特徴のある絹糸を工房内で手染めし、手織り独特の風合いのある製品を作っています。これらの製品は、養蚕、製糸、製品化までオール岡谷産によるものを「岡谷シルク」とし、そのブランドをささえる方々取材しました。

Q.1 シルクと関わるきっかけは? Q.2 岡谷シルクの魅力は? Q.3 今後の展開、どのようにしていきたいか?



こやま まちこ
小山 町子さん / “宮坂博文先生に師事” 岡谷絹工房代表

- Q.1 子育てが一段落したときに、「岡谷市シルク後継者育成事業」の第一期生の募集があり応募したことが始まり。現在まで、シルクとのかかわりを持てたのは、技術を学ぶことが楽しかったから続けることができました。
- Q.2 岡谷シルクは、太さの異なる糸を混ぜ合わせて作られた糸で織られた味のある着尺(着物用反物)であり、「わび、さび」のある織物を大切にしている。
- Q.3 若い世代の人たちにもシルクの魅力をもっと理解して使用してもらいたい。また、三沢区で育てている蚕からとれた生糸を使った100%岡谷産の着尺を時間が経っても織りたい。



ささき ちあき
佐々木 千玲さん / “シルクを学ぶなら岡谷” 地域おこし協力隊から起業

- Q.1 草木染めと出会い、学ぶならテキスタイルデザイナー宮坂博文氏の出身地である岡谷に関わりたいと思い、地域おこし協力隊として移住しました。卒業後、岡谷市内で起業し「岡谷シルク」ブランドの啓蒙活動をしています。
- Q.2 学校教育の中で、シルクファクトを拠点に歴史、文化、人を生かす活動が出来ている。
- Q.3 「岡谷シルク」ブランドづくりに関わり、風呂敷のプロトタイプを完成させたので、外へ向けた発信をしていきたい。



はま げんき
濱 元氣さん / “機織り、染織を学ぶ” 絹工房研修生(3年目)

- Q.1 岡谷シルクの文化に興味があり、絹工房を訪れたら機織り機がたくさんあり驚きました。小山代表にお誘いいただき、温かく迎えていただきました。
- Q.2 絹工房の建物自体が魅力的。通う人々のそれぞれの活動(作る・織る)や交流も魅力的。蚕から糸、製品まで多くの人に関わっているところ。
- Q.3 シルクは高価とかお手入れが難しいイメージがあるが、もっと気軽にカジュアルに使ってほしいと願っています。織ること自体が楽しいので興味を持って多くの方に体験してほしい。

Q. 岡谷市への要望は?

- ・「岡谷まゆ」を育てる体制の構築
- ・絹工房、シルクファクト、蚕糸等の連携を強化
- ・これからの担い手を市内外から集める
- ・次世代のコミュニティづくり
- ・岡谷市の面白い人の輪を広げる



ご意見・ご要望
市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けしていますので下記までお寄せください。

連絡先
岡谷市議会事務局
TEL.23-4811(内線1711)
FAX.22-6213

メール
gikai@city.okaya.lg.jp

議会のひろば第30号のご感想などをお寄せください。

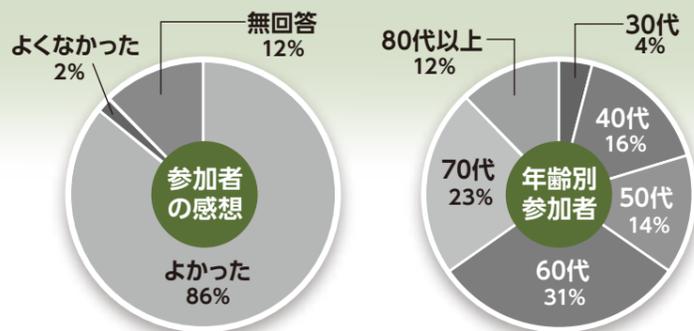
右のQRコードからアンケートフォームにアクセスし、回答、ご意見・ご要望を入力し送信してください。今後の編集に生かしてまいります。

議会広報広聴委員会
委員長：今井康善
副委員長：武井友則
委員：吉田浩明、田村みどり、中島保明、今井秀実、山崎仁、中島秀明、早出すみ子

○次号(第31号)の発行は、令和5年4月25日の予定です。

◆ぎかい報告会【総参加者数:59名】

今年度の議会報告会は、感染症対策として3常任委員会に分かれて2回ずつ行い、議会からの報告と政策提言に向けた市民意見聴取の機会として開催しました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。



●総務委員会

【10月7日:イルプラザカルチャーセンター】

●市民からの意見(抜粋)

- ・岡谷市内のスポーツ施設の予約が難しい。
- ・夜間、小学校の校庭をサッカーの練習に使用しているのだが、各学校の校庭の照明設備の照度が足りず、暗い中での練習になっている。
- ・安心して体を動かせる環境、安全に遊ぶ校庭の遊具や体育館の整備があるとよい。
- ・部活動の本質について、しっかりと考えてもらいたい。



●社会委員会

【10月6日:諏訪湖ハイツ・イルプラザカルチャーセンター】

●市民からの意見(抜粋)

- ・自らの体は自ら作る。運動、口腔ケアが大事。
- ・大勢の人との交流、気軽に話せる友達は必要。
- ・地域福祉が重要であり、横のつながりが大切。
- ・男性の居場所づくりが必要。きっかけとして、議員との懇談会の開催を望む。
- ・人集めには趣味から入るとよい。
- ・引きこもりをなくす。



●産業建設委員会

【10月5日:イルプラザカルチャーセンター】

●市民からの意見(抜粋)

- ・中央通りは歩行者や車の動線を踏まえて交互通行や交通表示の充実等を要望
- ・農業の地産地消は大切。食料自給率の向上と地域内での循環が必要
- ・農業、林業に限らず岡谷市の魅力のネット等による情報発信が重要
- ・ラオカヤ跡地の再開発の進捗はどうなっているのか?の質問

政策提言書提出の様子は8-9ページをご覧ください。

市民との交流の取り組み!

市民との交流を通じて、多様な市民意見の把握、議会活動を知っていただく場づくりを進めてまいりました。今回は、公民館で実施している「子育て支援学級」、シニア向けの「いちい学級」の一講座に加え、いただきました。「ぎかい報告会」では、報告に加えて、政策提言に向けた意見聴取の場として、貴重な意見をいただくことができました。

◆川岸公民館子育て支援学級【10月20日】

ママが未来の岡谷を創る?! 一議員さんと語ろうー



周りのママさん友達が
どんどん移住してしまう

地区の役員などの
負担が軽減されれば...

公園の魅力向上を
お願いします

2人目、3人目を
産もうと考えても経済的に
難しいと感じてしまう



新しい園の園児が
多くなり、兄弟で別々の
保育園になってしまう
せめて兄弟は同じ
保育園に通わせたい

◆長地公民館いちい学級【10月28日】



地域で学び続けている
シニアの皆さんに
お話を伺いました

人口減少対策と
空き家空き地対策の
さらなる推進を



駅前などまちの
活性化を期待したい

保育園の駐車場が
使いにくい

シルキーバスの利便性
向上をお願いしたい

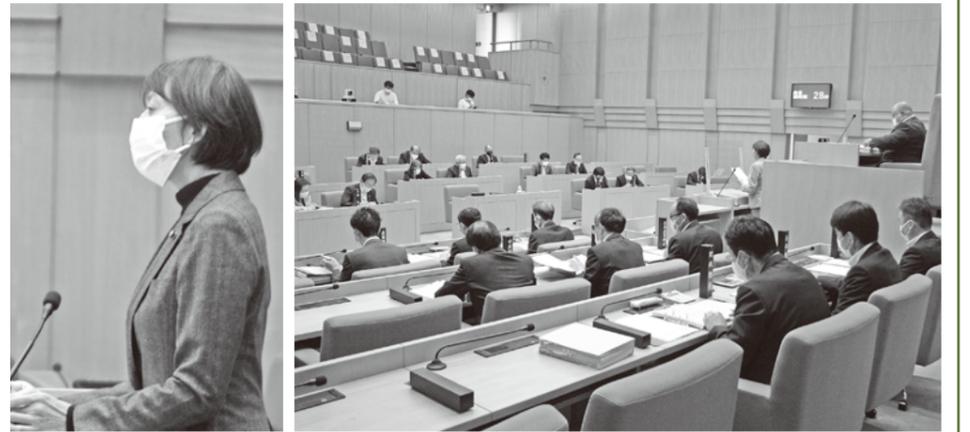
令和4年
第5回定例会(12月)
議場の再現
ダイジェスト版

ズバリ! 市政を問う!

一般質問

- 一般質問とは…議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。
- 一般質問の順番は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル ★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



目次

1. 遠藤 真弓…4ページ
2. 山崎 仁…5ページ
3. 浜 幸平…5ページ
4. 早出 一真…6ページ
5. 武井 友則…6ページ
6. 田村みどり…10ページ
7. 笠原征三郎…10ページ
8. 今井 義信…11ページ
9. 渡辺 太郎…11ページ
10. 中島 保明…12ページ
11. 大塚 秀樹…12ページ
12. 吉田 浩…13ページ

※掲載は質問順です。
※掲載内容は質問者の文責によるものです。

問 地域包括ケアにおける在宅医療の現状は?

答 医療専門職の人材確保、診療のバックアップ体制が課題



遠藤 真弓



問 諏訪地域在宅医療介護連携推進協議会における協議は?

答 令和2年度以降新型コロナウイルス感染症影響で開催なし。

問 医師一人の診療所体制で24時間対応の在宅医療は難しい。診療所同士の連携は?

答 実際の対応状況を把握し実情にあった在宅医療の検討を深める。

問 新規診療所開設時、助成は?

答 要望がない為助成は考えていない。

問 在宅医療参入医師へ助成は?

答 医師会の要望や意見を聞き課題抽出する。

重層的支援体制整備事業

問 右記事業への移行を見据え顕在化した課題は?

答 先進自治体へ、社協と合同視察をした。課題は、庁内での連携、職員配置。また協力頂ける団体や企業の発掘、育成。



今後リサイクル推進が図られる太陽光パネル

問 パネルの大量廃棄が予想されるが、リサイクルの仕組みは?

答 環境省ではリサイクルを推進、今後の動向に注視する。

問 セキュリティ管理は?

答 情報システムの専門業者に委託。最新の情報を入手しセキュリティ強化に取り組む。

問 被害を受けた場合の計画は?

答 まずは警察へ通報。指示を受けながらシステムを復旧。諏訪保健福祉事務所や近隣医療機関と連携し、必要な医療を提供する。

問 太陽光パネルの廃棄とリサイクル

問 令和5年度の度予算編成については?

答 安定した市政運営を堅持するため、行財政改革に取り組む



浜 幸平



問 物価高の中での令和5年度予算編成の基本方針については?

答 現状を考慮した上で一般財源ベースで令和4年度当初予算額の範囲内とする。光熱水費の増分は、ゼロシーリングの対象外として要求を認める。

問 重点政策や現時点で考えている特色ある事業は?

答 重点政策は「活力と彩の創造」「未来に輝く人づくり」「穏やかで美しい日常の実現」を掲げ未来を見据えた躍動的な年と位置づけ予算編成を進めている。また重点施策特別枠を設け「移住定住の促進」及び「ゼロカーボン推進」を掲げ、ゼロシーリングの対象外経費として財源を配分する。

問 岡谷市育英資金奨学金制度の運用状況については?

答 今年度は大学が8件、医師養成課程が2件、他3件となっている。平成24年から10年間において市内に移住した場合の償還免除件数は



奨学金制度の詳細はホームページで確認できます

問 3年ぶりの市政懇談会以外に市民の声を聞く機会は?

答 地域の会合、イベントに可能な限り参加。市民提案ボックス



山崎 仁



問 市政懇談会における市長の感想や、市民の声をどう捉えているのか?

答 全体で827人の幅広い年齢層の人が参加した。市総合計画の達成状況、教育環境、人口推移、新型コロナウイルス感染症対策、地域資源の活用、空き家対策、地域医療や環境問題などさまざまな意見、要望が寄せられた。しっかりと受け止め市政運営の参考にします。

問 第2期岡谷市公園施設長寿命化計画の背景と内容は?

答 2031年度までの10年間を期間とし、「計画的な維持修繕・更新による安全安心の確保」「公園機能のリノベーションによる街の魅力やにぎわいの創出」の2基本方針を掲げ、20年度に都市公園の2099施設を調査。今後、緊急度の高い施設から修繕や更新する。機能強化、機能特化、機能転換の3つに分類し公園の活性化を図り、国や県の補助金の活用や地域住民



鳥居平やまびこ公園展望広場からの眺望

と協議連携して整備に取り組む。
問 鳥居平やまびこ公園の魅力向上のためキャンプ施設の設置などもっと積極的に取り組むのでは?
答 新型コロナウイルス拡大に伴い、アウトドアレジャーに注目が集まる。公園施設長寿命化計画では鳥居平やまびこ公園の整備方針はアウトドアレジャーなどの機能の付加、充実を図り都市部などから訪れる公園となるよう検討、実現に向け取り組む。
キャンプ場などアウトドアレジャー施設の設置に向けた研究、検討に着手する。

【令和5年】新年の抱負

新年の抱負を「漢字一文字」で。その一文字に込めた思いは？

礼 小松 壮 「礼に始まり礼に終わる」人間としての基本を忘れない

責 田村みどり 果たすべき務めに真摯に取り組めます！

和 浜 幸平 平和に進む年でありますように！

柊 吉田 浩 冬に花が咲く。花言葉は「先見の明」「歓迎」

再 中島秀明 地域や経済の再生と次世代への再構築に向けて再始動

大 武井友則 周りの人を大切に。ひとまわり大きな人間に

笑 早出すみ子 笑う門には福来たり、なかなかの世の中笑顔で!!

燃 中島保明 この胸の燃えたぎる思いを実現させる年です

夢 今井義信 迷い、儚い、希望、理想、人の世は夢の如し

笑 今井康善 停滞し続けていた世の中に希望が芽吹く年に！

藍 渡辺太郎 従藍而青の心緒で努力を重ねてまいります

魁 早出一真 市民の先頭を走る役目を果たしていきたい

応 藤森博文 市民の負託に応える真摯な姿勢と日々自分磨き

安 笠原征三郎 大軍拡・大增税でなく、安心して暮らせる世の中

命 大塚秀樹 戦争、飢餓、不登校多々あるが一番大事に

卯 山崎 仁 今年は5回目の年男「うさぎ」で飛び跳ねます

説 遠藤真弓 今こそ、対話の必要性を説ける人間でありたい

問 下諏訪町境からあいとぴあ駐車場間の囲繞提の活用方法は？

答 魅力ある公園・空間となるよう、県と協議を進める！



早出一真



答 魅力的で素晴らしい企業があることを知ってもらう良い機会であり、今後は全市民的な取り組みになるよう考えていく。

道の駅が生み出す地域振興

問 「道の駅」を拠点としたまちづくりについての考えは？

答 「道の駅」は個性豊かな賑わいの創出ができる一方、設置については検討課題が多く慎重に研究していきたい。

問 「出早公園」は観光客が訪れる憩いのスポットであり、このような場所を活かす考えはあるのか？

答 「道の駅」が設置されれば相乗効果が生まれるが、設置については検討課題が多いと考えている。



満足度全国第一位 道の駅 川場田園プラザ(群馬県)

問 市内建設業者数の推移は？

答 事業者数は25年間で約5割減



武井友則



問 市内における建設業就業者の年齢層の状況は？

答 建設業の就業者14933人のうち20代が約10%、30代が約12%、40代が約26%、50代が約21%、60代以上が約31%であり、平均年齢は約52歳。

問 防災減災の担い手確保に向けた地域建設業者確保の取り組みは？

答 災害の未然防止や災害時の応急対応・復旧など、市民の命と安全を守る「地域の守り手」としての建設業を支える担い手の確保が急務。市内業者への発注に努めるとともに、建築等に伴う補助金の要件を市内業者による請負に限定するなど、配慮していきたい。

★要望：現地検査の負担軽減や工事報告書類等の簡素化へ向けた見直し、またデジタル化への対応に向けた体制づくりを。

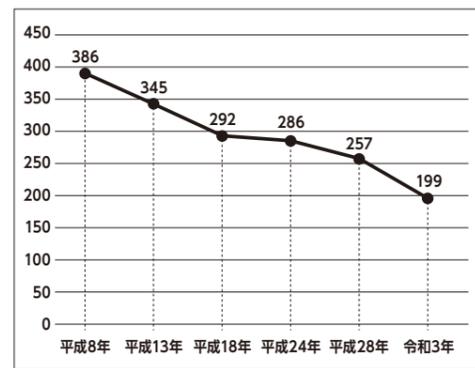
長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例

問 条例の概要は？

答 面積が3000㎡以上または高さが5m以上の盛土を行う場合には知事の許可が必要となる。盛土を行うものは事業内容を土地所有者へ説明、同意を得るとともに、周辺住民に対する説明会を開催しなければならない。また、条例に違反した場合の行政処分手続きや、罰則規定が定められている。

問 条例に対する市の役割は？

答 盛土を把握した場合に県へ情報提供することや、県へ盛土等の申請があった場合には、土砂等の崩落、飛散防止または流出による災害の発生防止の見地から市町村の意見を聞かれる事となっている。



特集

政策提言書を提出

令和4年12月22日（木）市役所5階応接室にて、小松壮議長、今井康善副議長、田村みどり総務委員長、吉田浩社会委員長、中島秀明産業建設副委員長が、小口道生副市長に政策提言書を手渡しました。



提言書のテーマは次の3つです

スポーツによる地域元気計画

誰もがスポーツに親しみ楽しむ、
そして感動するまちへ

岡谷市を元気にするには、人々の豊かなスポーツライフを実現するための施策も必要と考え、多様なスポーツの機会の充実、スポーツ施設の充実、スポーツを活用したまちづくりの推進体制の充実の3つのポイントに絞り、スポーツを「する」「みる」「させる」といった観点から、調査・研究を重ね提言いたしました。

【担当：総務委員会】

みんなからの健康づくり

高齢化社会が進み「人生100年時代」が叫ばれる中、如何に健康寿命を延伸できるか、どうすれば病気になるらない、介護を必要としない生活ができるか、すなわち予防の観点に注目しテーマを設定し、生活習慣の改善、がん等の早期発見、フレイル予防、口腔の健康推進に対する施策に着目し様々な角度から検証し、調査・研究を行いました。

【担当：社会委員会】

岡谷市の産業活性化

農業・林業・商業の課題解決と
新しい産業拠点

岡谷市の農業、林業、商業の課題解決と、各産業に共通の課題をインターネット活用ネットワーク化で解決することで産業の活性化を図り、魅力あるまちづくりを目指していますが、デジタル化の急速な技術革新への対応と共に、まちづくりへの気概と覚悟のある人材が活躍できる枠組みと人材育成とが提言の根幹となっています。

【担当：産業建設委員会】

●小松議長コメント：市の議題などを中心に、常任委員会ごとにテーマを決めて、1年半にわたり調査・研究を重ね、今期2回目の政策提言書を作成し市長へ提出いたしました。今後の市の事業に生かしていただくため、全議員一丸となって取り組んでまいりました。多くの市民の皆様からの声や先進地の事例などもしっかりと反映し、実現化すれば必ず夢と希望が溢れる岡谷市の一助になるものと確信しております。



政策提言書の全文はこちらからご覧になれます



問 今年度の岡谷市の人口動態の状況は？

答 4月から10月まで7ヶ月連続の社会増で1996人転入超過



田村 みどり



問 7ヶ月連続の社会増の要因は？

答 コロナ禍を契機に、都市部の企業を中心とした、テレワークの普及、サテライトオフィスの開設など働き方の見直し、働く場の多様化、柔軟化による、地方暮らしへの関心の高まりが背景にあると考える。

問 人口の社会増に向けた取り組み

問 どのような取り組みがされているのか？

答 転入者を増やす取り組みとして、まず、本市を知ってもらうこと、興味をもってもらうことが必要と考え、本市の魅力や移住定住に関する様々な情報を発信している。

問 本市で仕事探しや住居探しのために訪れる際の交通費や宿泊費に利用できる「岡谷の魅力体験事業補助金制度」の実績は？

答 令和2年度から開始された本補助金制度は、48件の利用があり、そのうち11件が実際に移住している。

美しい自然とともに過ごす おかやを体験しませんか？

対象となる活動

岡谷市への移住・定住の準備活動等岡谷市を訪れた場合に、交通費、宿泊費、市内体験住宅の滞りの一部を助成します。

交通費	宿泊費	体験住宅
(往復) 1人あたり10,000円(上限) (往復) 2人あたり20,000円(上限) (往復) 3人あたり30,000円(上限)	(1泊) 1人あたり5,000円(上限) (2泊) 1人あたり10,000円(上限)	(1泊) 1人あたり40,000円(上限) (2泊) 1人あたり80,000円(上限)

長野県 岡谷市 (公社) 企画政策部 地域創生推進課
 住所 長野県岡谷市町町8番1号 TEL 0266-23-4811 FAX 0266-23-5022
 E-mail: sound@city.okaya.jp
 ホームページ: https://www.city.okaya.jp/index.html

補助金を活用して岡谷暮らしの準備を！

問 本市の魅力や様々な事業を広く知ってもらう方法は？

答 移住を促進するため、本市の持つ独自の強みや特色、様々な施策をホームページや岡谷市LINE公式アカウントなどでの発信、首都圏等で行われるイベントの参加やPRブースの設置、移住相談会の開催などを考えている。

問 2050年岡谷市ゼロカーボンシティ宣言発出後の取り組み

答 達成に向けた今後の取り組みは？

答 今後も国の計画や補助制度を活用し、庁内横断的な取り組みの推進、官民が連携・協働してカーボンニュートラルの達成を目指す。

問 学校給食は教育の一環と捉えるべきでは？

答 教育の一端を担っている



笠原 征三郎



問 学校給食は、食育として教育の一環であるならば、給食費は無料化にしても良いのではないかと？

答 法(学校給食法)の趣旨に基づき、食料費等については保護者に負担していただいている。

問 政府の見解は、無料化については、それぞれの自治体で決めていけば良いとしているのでは？

答 学校給食費を無料化した場合、多額の財源を永続的に投入するには大きな課題がある。

問 第1子は全額徴収、第2子は半額徴収、第3子以降は無料にするとの考えはどうか？

答 現状においては、多子軽減のような制度は考えていない。



問 物価高騰から市民生活を守る

問 「10月の消費者物価指数」は、前年同月比で40年8カ月ぶりの上昇だ。今こそ、全市民・全世帯を対象とした、生活を守る施策が必要だと思いませんか？

答 岡谷市では、市民生活を守るため、これまでも各種の支援策を講じてきた。今後についても、経済情勢が市民に与える影響を見極めつつ、適時適切な施策展開を図っていく。

問 「福祉灯油」の実施は行わないのか？

答 国や県による支援策が行われているので、市単独での灯油助成事業を行う考えはない。

問 マイナ保険証について

問 マイナンバーカードと保険証の一体化は事実上、カード取得の強制ではないか？

答 マイナンバーカードは、申請に基づき交付されるもので、義務付けるものではない。

問 SUWA小型ロケットプロジェクトへの交付金の活用は？

答 プロジェクト全体として、地方創生推進交付金を活用している



今井 義信



問 SUWAスペースプロジェクト(仮称)の現状はどうか？

答 運営委員会の開催など、今年度内の小型ロケットの打ち上げを目指して進捗している。

★要望：諏訪湖でロケットを上げることがすでにブランドとなっている、と考える。継続した支援を強く求める。

問 65歳超雇用推進助成金の支給額、要件、制度の概要は？

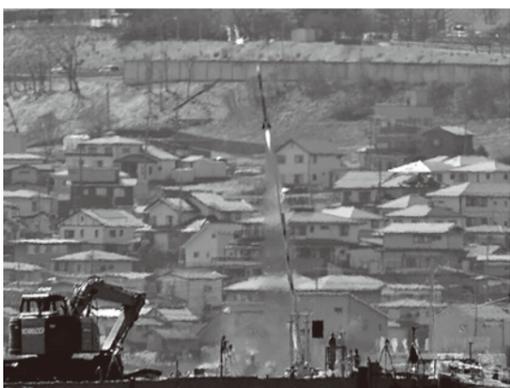
答 継続雇用促進コースなど3コースごとに定められた支給要件に沿って一定の支給額が助成される。

問 市内企業の最近の景気動向(10月景気動向調査)は？

答 市内製造業の業況D-1について、3期ぶりのマイナス水準である。収益D-1についても依然としてマイナス水準である。

問 2050年のカーボンニュートラルに向け、企業の取組状況は？

答 温室効果ガスの排出量の把握



2022.03.20.SRP-006 打ち上げ

の状況について、調査企業中約3割が把握している。

シルク関連事業による

地域の活性化について

問 展開している事業の、現状は？

答 各種事業と連携し、養蚕体験事業、滞在型WS、まちあるき事業などの、参加型イベントの開催。

問 地域おこし協力隊の活動状況と、隊員の様子は？

答 岡谷シルクのブランド発信、養蚕振興などに取り組み、企画、実施など精力的に活動している。

問 岡谷市民の平均寿命と健康寿命の推移は？

答 男女ともに、国・県よりも高い状況となっている



渡辺 太郎



問 健康寿命の算定方法は？

答 日常生活動作が自立している期間として、介護保険の要介護2以上を不健康な状態として定義し算出している。

問 運動療法の取り組み効果は？

答 医師会と連携し実施している。中性脂肪の減少や血糖・血圧の低下、生活習慣病改善効果がある。

保育園整備の中期計画

問 川岸、夏明、つるみね、成田の4園を1園に集約する計画なのか？

答 児童数は一定の年度に達すると、100人から140人規模に収まる状況。進み具合によるが、1園の中で吸収できると想定している。

問 幼保小の連携として川岸小学校とのハード面の連携の考えは？

答 あらゆる可能性を検討している。よりよい整備となるよう慎重な審議をお願いしていく。

保育園の紙おむつの処理

問 保護者の負担軽減から持ち帰りではなく、園で処理できないか？

答 持ち帰りは園児の健康状況の把握に繋がるメリットがあり、子供に向き合うよい機会。職員負担の増、処理費用等の課題から、実施やアンケート調査の予定はない。

出産・子育て応援交付金事業

問 様々なニーズに即した必要な支援に繋ぐ伴走型相談支援と関連用品購入費助成等の経済的支援を一体とした取り組みの考えは？

答 相談体制の整備も必要になる。市としてどのような方法で事業を実施していくか、他市町村の動向などを踏まえ、検討する。



問 第5次岡谷市総合計画の後期基本計画について
答 今年度把握した市民意見を踏まえ、時代に即した計画とする



中島 保明



問 来年度で終了する前期基本計画の現時点での状況は?

答 前期基本計画期間中の取り組みについては多くの施策、事業を効果的かつ効率的に展開することができていると考えている。

移住・定住の促進においては、新たに設置した地域創生推進課を中心として関係部署が連携しながら岡谷市の知名度向上、各種助成制度の活用による移住・定住の促進に努めており、これまでに46世帯、71名の移住に繋がっている。人口動態では今年に入り岡谷市への転入者数が市外への転出者数を上回る「転入超過」が続いている状況にあり手ごたえを感じている。

問 後期基本計画の策定方針は?

答 ①将来展望人口は直近の人口動態をベースに見直しを図る。
②施策の大綱は、「交流・関係人口の創出・拡大」、「移住・定住の促進」「ゼロカーボンの推進」などを政策もしくは施策のひとつに位置づけ、事業展開に結び付ける。



この岡谷市を総合計画が支えています

問 後期基本計画の策定スケジュールは?

答 岡谷市基本構想審議会からの答申および市議会での議決を経て令和5年12月には計画策定を完了したい。(基本構想の変更については議会の議決が必要)

教育界へのコロナ禍の影響

問 教育長の思いは?

答 コロナの影響をマイナス面だけでは捉えていない。コロナ禍でも必要な行事を工夫しながらやっており、また子ども達が先生と一緒に考えて取り組むも行っている。このような経験は人格形成において貴重であり、自己肯定感や自己有用感の醸成に繋がる。

問 新年度予算編成の考えは?
答 前期基本計画の最終年度に向け目標を達成する



大塚 秀樹



問 新年度予算の市長の思いは?

答 令和5年度は、「未来を見据えた躍動の年」と位置付け「活力と彩の創造」、「未来に輝く人づくり」、「穏やかで美しい日常の実現」の3つを掲げ、満足度の高い岡谷市を作り上げたい。

企業活動の継続と消費需要の喚起により、地域経済の回復を確かなものとし、市内事業者の持続的な成長を支援していく。

子育て支援施策の充実を図り、多くの女性、若者に選ばれるまちづくりと子ども達の豊かな学びの推進により生き抜く力を醸成し将来を担う人づくりに取り組む。

自然災害に対し安全・安心で強靱な地域づくりと官民一体で進めるゼロカーボンシティを目指し、福祉・健康づくりの面で、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

問 独居高齢者への支援

答 支援を必要とする世帯に対し、

緊急時の親族等への連絡や地域の見守り協力者の確保と必要な援助が速やかに行えるよう民生児童委員と毎年状況調査を実施している。

問 独居高齢者への支援は?

答 24時間緊急時駆けつけ安全サービス事業。配食サービス事業などを実施している。

眠育について

問 どのように促しているか?

答 健康的で規則正しい学校生活を送るうえで、大切な要素と考えており、適時指導を行っている。

問 コロナ禍による生活リズムの乱れはないか?

答 学習面や健康面での影響が危惧される。十分な睡眠やバランスの取れた食事、適切な運動など、調和のとれた生活習慣が重要である。



寝る子は育つ

問 小・中学校のいじめ認知件数と不登校件数状況は?
答 いじめの認知件数は減少しているが不登校件数は増加



吉田 浩

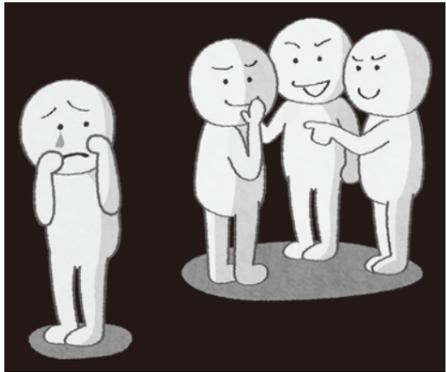


問 いじめと不登校の件数は?

答 令和3年度のいじめ認知件数は小中学校あわせて39件であり、令和2年度と比較して16件の減少となった。内訳は小学校が16件、中学校が23件で、特に小学校において令和2年度から半減した。

問 いじめの認知件数の減少の要因は?

答 本市のいじめ認知件数は、令和元年度の114件をピークに令和2年度は55件、令和3年度は39件と減少傾向にある。要因として、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による2か月に及ぶ全国一斉の臨時休校の実施や、その後も学校生活の中で感染防止対策の徹底を図る中で、子ども同士が接触する機会が減少していると推察している。令和3年度も同様。また、コロナ禍であっても、各校で工夫しながらいじめの防止に向けた取り組みを続けており、そうした活動の成果も減少につながっていると考えられる。



いじめは絶対にダメです

問 「重大事態」の基準と対応は?
答 いじめの「重大事態」は、いじめ防止対策推進法で規定され、「いじめにより、生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いがある」と認められるとき。また、いじめにより、相当期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」と定義されている。また、重大事態の対応についても、法により「速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、適切な方法により重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする」と規定されており、重大事態の疑いが生じた時点で、規定に従い対応を講じていく。

「議会だより」第30号を発刊!!

平成27年11月創刊以来第30号を迎えました。令和元年7月発行の第16号からは、名称を「議会のひろば」に改め、市民の皆様にご覧いただき、議会活動をわかりやすくお伝えしております。今後もご愛読いただき、ご意見ご要望をお寄せください。

岡谷西部中学校 武居悠輔先生

授業の様子

令和4年 第5回定例会

令和4年11月30日から12月13日まで14日間の会期で開かれ、報告案件3件、一般議案が12件、議員提案が1件の15件が提出されました。主な審査・審議結果は次のとおりです。

◆議案第78号 岡谷市個人情報保護に関する法律施行条例

本会議での提案説明(議案の内容)

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の中で個人情報保護の取扱いを全国共通ルールで運用することを目的として「個人情報保護に関する法律」が改正されたことにより、法体系が一元化される。

地方公共団体等に関連する部分は、現行の「岡谷市個人情報保護条例」を廃止し、新たに「岡谷市個人情報保護に関する法律施行条例」を制定し、附則で経過措置等所要の改正を行う。

※本会議での説明の後、総務委員会に審査付託されました。

◆総務委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 現在の個人情報保護条例との違いは？

答 主な変更点は、市議会の適用除外、開示請求等における代理人制度の実施、秘密保持等についての派遣

(主な議案の審査・審議結果)

労働者への適用拡大、過料の増額などであるが、内容や趣旨等が変わるものではない。

問 条例制定と地方自治及びマイナンバー制度との関係は？

答 個人情報の保護に関する法律の改正は、基本的にマイナンバー制度との直接的な関係はなく、各自自治体もマイナンバー制度の創設以前から個人情報の保護を行っており、今回、全国共通ルールで運用され、これまでと考え方や趣旨が変わるものではない。

※質疑の後、討論採決が行われ、総務委員会では原案のとおり可決されました。

※総務委員長から委員会での審査の経過と結果が報告され、議員より討論(議案について賛否を述べる)がされました。

○討論(反対意見)

この「個人情報保護に関する法律」は、個人情報保護制度の統合・一元化。マイナンバー利用の情報連帯の拡大。マイナンバーカードのスマホ搭載や発効・運営体制の変更。押印・書面の交付等の手続きの見直しなどが盛り込まれる。民間・行政機関・独立行政法人と別々に制定されている三つの個人情報保護法を統合し、個人情報保護委員会に一元化するものであり、地方自治への侵害である。

最近マイナンバーカードの情報が過去5年間で3万5千人もの漏洩がある。情報の統合・一元化による情報漏洩の危険性も大きい。よって本議案に反対をする。

○討論(賛成意見)

本議案はデジタル社会の進展に伴い、国が個人の情報の取り扱いの基本方針を定め、国と地方公共団体の責務を明確し、個人情報を取り扱う事業者、行政機関の遵守すべき責務を定める個人の権利、または利益を保護することを目的としている。また、個人情報保護制度においては全国的な共通ルールを規定し一つの法律に一本化することにより、地方公共団体の条例についても廃止改訂が行われる。さらに、市が運用してきた個人情報保護条例の趣旨等に大きな変更はなく厳格な運用が定められることから、本議案に賛成する。

◆議案第82号 令和4年度岡谷市一般会計補正予算(第12号)

本会議での提案説明

原油価格・物価高騰等への対応として、各種施設への価格高騰対策支援事業、子育て世帯価格高騰対策支援給付金支給事業、省エネ暖房機器等購入支援事業を計上することにも、自治体オンライン手続推進事業、指定寄付金積立金、県及び市議会議員選挙執行準備経費、保育園の感染症対策事業を計上するほか、就業創業者移住支援事業、福祉医療費給

付事業、林道施設災害復旧事業を追加するもので、総額 2億1808万5千円を追加する。

※本会議での説明の後、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会にそれぞれ審査付託されました。

◆総務委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 自治体オンライン手続きの内容と件数は？

答 児童手当の現況届など子育て関係が15手続き、要介護、要支援の認定申請など介護関係が11手続き計26手続きについてオンライン化を行う。

問 移住相談窓口設置による、移住者の変化などは？

答 首都圏等とのアフセスの良さ、仕事が多くある事、また、テレワークの普及により二拠点居住が出来る等、移住者が増加している。

問 移住定住への周知方法は？

答 SNSやホームページの活用、岡谷市LINE公式アカウントに、移住の専用ページを設け細やかに更新する。情報発信の強化や、首都圏、中京圏でプロモーションを行うなど、周知に努めている。

◆社会委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 子育て世帯価格高騰対策支援給付金の周知及びスケジュールは？

答 議決後、年内をめどに対象者を抽

出し、郵送にて周知していく。2月初旬には支給決定通知を発送し、2月分の児童手当支給日に振り込みを行う。

問 病院会計支出金の内容と金額は？

答 原油・原材料の高騰に直面する岡谷市民病院の安定的なサービスの提供を支援するものである。市独自の支援分608万円と、原油価格等高騰による影響分を見込む中、病院開設者として4000万円を負担し、合計4608万円を支出する。

◆産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果

問 省エネ暖房機器等購入支援事業の目的は？

答 長野県の省エネ家電購入への補助の対象とならない灯油とガスに特化し、差別化を図り実施する。

問 林業施設災害復旧費設計の見直しにおいて市として注視する点は？

答 設計見直しでは、業者と市が現場で立会いを行いながら根拠を明確にし、国、県から示されている設計変更ガイドライン等に基づき確認を行う。

※質疑の後、討論採決が行われ、それぞれの委員会では原案のとおり可決されました。

◆再び本会議におおつて議案の審議

※審議の結果各議案は下記のとおり可決されました。

○令和4年 第5回定例会(全会一致により可決等された議案等)

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 議案番号, 件名. Lists various council resolutions and their details.

○令和4年 第5回定例会(賛否が分かれた議案等)

Table with 2 columns: 議案番号, 件名. Lists resolutions with a breakdown of support and opposition by council member.

議長・議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対 欠:欠席

○令和4年 第5回定例会陳情の審査結果

Table with 4 columns: 陳情番号, 件名, 担当常任委員会, 審査結果. Lists petitions and their review outcomes.

募集

「市民(みんな)とあゆむ」をテーマに、多世代がそれぞれの立場で活躍する団体等を紹介する「おかやの市民力発見」を掲載してまいります。掲載希望の方は電話かメールで、議会事務局までお問い合わせください。

電話 0266-23-4811(内線1712)

メール gikai@city.okaya.lg.jp

※掲載については、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

岡谷市議会は、議員が直接現場取材することで、岡谷市議会基本条例に基づく議会能力を発揮し、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与します。

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

今年はずさぎの年で、私は年女になります。元氣と希望を胸に頑張りませう。編集に携わる楽しみは世代を超えて様々な人に出会えることです。出会いの中から、新しい発見を見つけ、議員活動にもつながります。

皆さんは「議会のひろば」のどこを最初に読みますか？先日、長野にいる甥っ子から「ユーチューブ見たよ」と聞き、びっくりやら、うれしいやら。どこにいても見て聴いてもらえる時代を実感しました。ユーチューブでお会いしましょう！

(早出すみ子)